

塚本 恭史の回顧録集 全七巻 自家製本の発行

NPO 法人コミュニティNETひたち (Cnet)

代表理事 久保 裕
(Cnet 製本工房主宰)

1. 塚本恭史の回顧録集 全七巻

塚本恭史は2013年71歳で急逝したが、未亡人の塚本美智子は、遺された記録から故人の回顧録を編集し発行した。第一巻を没後3年目の2016年に「ブルーポピー」と題して発行し、その後「山と花に魅せられて」四巻、「フィガロの結婚」二巻を出版し、全七巻目は、今年、2018年7月20日に発行されている。

全巻すべて自家製本であり、パソコンによる原稿作成とプリント、そして装丁までCnet製本工房で製本して発行した。

巻	題名	著者	発行日
一	ブルーポピー	塚本 恭史	2014年12月21日
二	山と花に魅せられてⅠ	塚本 恭史	2017年3月20日
三	山と花に魅せられてⅡ	塚本 恭史	2017年6月20日
四	山と花に魅せられてⅢ	塚本 恭史	2017年12月20日
五	山と花に魅せられてⅣ	塚本 恭史	2017年3月20日
六	フィガロの結婚Ⅰ	塚本 恭史	2018年5月20日
七	フィガロの結婚Ⅱ	塚本 恭史	2018年7月20日

2. 全七巻の概要

第一巻「ブルーポピー」は生い立ちの記録とともに俳句集、短歌集、写真集など多彩な趣味を一巻にまとめて紹介している。巻頭には「憧れていたブルーポピーにやっと出会いました。中国大姑娘山登頂付近にて」と、撮影されたブルーポピーの写真が掲載されている。

第二巻から五巻までは、世界の高峰の登頂とトレッキングの記録である。エベレスト、アンナプルナ、キリマンジェロなどの登頂とトレッキングの記録は日時や走行距離や標高などの克明な記録とともに多くの美しい写真は見事である。題名「山と花に魅せられて」の文字どおりの紀行文と山と花の写真集の作品といえる。

第六巻から七巻は、ヨーロッパと米国ニューヨークでのオペラ鑑賞の記録である。オペラについての深い造詣とオペラ歌手への惜しみない愛情がほとばしり出てくる記録である。ドイツ、イギリス、フランスとアメリカの歌劇場でのオペラ鑑賞とその地の写真と記事は見ごたえのあるものだ。最後の第七巻の巻頭には、カーネギーホール前の自写真と、ベルリン国立歌劇場で撮影した「憧れのワルトウト・マイヤーの美声に酔う！」の写真がある。素晴らしい鑑賞の記録を遺している。

3. 著者 塚本 恭史について

塚本恭史は1942年広島県因島市に生まれ、高等学校まで因島で過ごした。日本の文学書はほぼ読破し海外小説家ではドフトエフスキーのとりこになる文学少年であったが、物

理や数学の分野も好きでエンジニアをめざした。1964年に九州工業大学を卒業し、同年(株)日立製作所に入社して日立事業所で勤務することになる。

日立事業所のタービン検査課に配属となり、日本の高度成長期の時期で、日立事業所は次々と大型タービンを日本の電力会社へ納入し、海外の火力発電所への輸出も盛んでタービンの現地での試運転そして引渡しなどで世界の各地に長期出張することも多かった。

1970年に美智子（1964年生まれで恭史より3歳年下）と結婚。

1990年には日立製作所本社の火力建設部長に就任した。国内外の現地の建設所長などを務めて多忙を極めたが1997年(株)日立製作所を退社し日立酸素(株)の役員となる。2001年には役員を退任した。

現役を引退後は、悠々自適の好きな登山やオペラ鑑賞に世界中を旅して歩いた。同時に多彩な趣味で句・歌・吟・ピアノ・写真などを楽しみ、歌集を作るなどの記録を残した。

現役時代の激務などから、晩年の十年間は数回の大手術との闘いでもあった。

塚本恭史の回顧録全七巻は、現役時代に得た多くの知見と体験を生かした引退後の多方面で多彩な活動記録である。

2013年1月7日、友人たちとのゴルフのプレイ中、ラフからボールを打って歩きだしたとき、突然倒れた。すぐに救急車で病院に搬入されたが急性大動脈剥離で息を引き取られた。享年72歳であった。

4. 編集者 塚本美智子について

故塚本恭史は妻美智子と1970年に結婚。

恭史は旅行の紀行文や俳句、短歌そして多くの写真をパソコンに記録し保存していた。そのプリントされたペーパーの多くのファイルがある。美智子はそれを整理し綺麗に編集して本にすることが故人恭史のやり残したことはないか、そして大なる供養になるのではないかと心から思った。しかし、美智子はパソコンについてはメールを友人とやり取りする程度の使い方しか知らなかった。パソコンに記録されているファイルを探し出すことも容易ではなかった。

美智子は回顧録第一巻『ブルーポピー』の「あとがき」に書いている

「主人は文章を書くことが苦でなかったようです。旅行から帰って来たら、すぐパソコンに向かって紀行文の作成をしていました。残されたたくさんの俳句、短歌、紀行文、写真があり、何かまとめて残しておきたいと思っていました。そのとき日立市の市報で「パソコン入門ワードで本を作る会」の募集がありさっそく入会しました」

2013年1月にご主人が他界してから3か月後のことだった。同年4月にNPO法人コミュニティNETひたちは「パソコン入門ワードで本を作る会」の会員を募集していた。そのお知らせを市報で見た美智子はすぐに入会した。そこでパソコンのワードの入門講座を一年かけて学習した。それからの一年間で恭史の生い立ちの記録とともに俳句集、短歌集、写真集など多彩な趣味の記録を、恭史のパソコンの中からテキストと写真を引き出して第一巻「ブルーポピー」として編集しまとめて上げた。原稿が出来上がり製本を完成したのは2014年の年末であった。恭史の3回忌の法要に間に合わせる事ができた。

その後、『山と花に魅せられて』4巻、『フィガロの結婚』2巻をまとめて上げ、1000頁を越える全7巻を完成し発行したのは2018年7月20日のことであった。